

かわさき区の宝物シート

宝物No.	じょうじゅいん 成就院		
8-4			
エリア	中央地区 渡田・京町	シーズン	通年
		日時	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物		



所在地	川崎区渡田3-8-1
問い合わせ	成就院
TEL	044-333-6622
FAX	044-366-0026
E-mail	
URL	
交通	JR川崎新町駅より徒歩10分 JR川崎駅よりバス「成就院前」下車徒歩1分



基礎情報

■真言宗の寺。正式名称は明王山聖無動寺成就院。境内から弘安2年(1279)と徳治3年(1308)の板碑が出土していることから創建は鎌倉時代中期と推定されている。代々新田神社の別当を兼ね、また寺子屋も営み教育の道場としても地域の中心として貢献してきた。

■境内には板碑群をはじめ鎌倉時代の五輪塔や馬頭観音、六地藏、子育て地藏など多くの石仏があり、また、神奈川県で2番目に免許代理人(弁護士)となり、後に衆議院議員となった山田泰造の墓や、作家大佛次郎の伯母の墓がある。

由来・エピソード

■本尊は「大聖不動明王尊と二童子」。新田義貞が鎌倉攻めで入間川(埼玉県)に陣を張ったときに、夢枕に二人の童子があらわれ「鎌倉退治の心願あらば、これより南、橘樹郡亘田の里に安置し奉る所の不動尊を崇信せられよ」とのお告げを授かった。不動尊とは成就院のことであり、その通りにしたところ、ついには北条高時一族を破り、挙兵からわずか15日で鎌倉幕府を陥落することができたという言い伝えが残る。

■天保14年(1843)生まれの山田泰造は、明治10年(1877)35歳の時に神奈川県で2人目となる弁護士となり、明治23年からの8年間に5回衆議院議員に当選し、議員活動に専念した。55歳で政界を離れ、国民の自由と幸福、人権擁護のために奮闘した。自由民権運動を行う誰もが名を上げて権力を握ることに労力を費やしていた当時、最後まで在野においてその姿勢を全うしたことと慕われている。大正6年5月25日没、享年75歳。

■大正12年(1923)の関東大震災によって日本鋼管株式会社(現・JFEスチール(株))では43人の犠牲者が出た。当時の住職・隆性和尚の発願によって『殉職者之碑』が同年12月に建立された。以降毎年9月には追悼供養が弔われ、70余年が経過した平成8年には改修移建が行われた。

■「霊場お砂ふみ場と佛足石」は、昭和35年～55年にかけて区内在住の吉澤フヨ、藤代キクの2人の女性が、江戸の終わり頃に先祖が辿ったという山形の出羽三山や四国八十八ヶ所、玉川八十八ヶ所などの諸国の霊場、そして遠く南太平洋諸島の戦跡地の巡拝を果たした記念にと昭和61年(1986)12月に先祖の供養塔を改修、「佛足石」を奉納し、各地の霊場の砂を納めて供養した。佛足石に足を置くことで、各地の霊場の「お砂ふみ」をすることができる。佛足石とはお釈迦様の足の裏の形を彫り込んだ石のことで、健康、健脚、前向きに生き抜く勇気の象徴。拜むと罪障が消滅するといわれている。

■山門前の庚申塔は享保8年(1723)の造立。合掌する六手の「青面金剛(しょうめんこんごう)像」と台座部には右から「みざる・きかざる・いわざる」の三猿が彫られ、また石工・石田屋丈助の名も刻まれている。丈助が居を構えたのは六郷の渡しのためとの船場町。石材の運搬・荷揚げのための「石屋河岸」があったと伝えられる。江戸時代中期の石造物の多くは丈助の作品であった可能性が高いとみられている。

補足・その他

■成就院内で最も古いものは、本堂前の樹齢300年ほどの大きな蘇鉄(ソテツ)。戦災で大きな損傷を負ったが、奇跡的に復活を遂げ、枝分かれした立派な樹勢を誇っている(成就院の一番の宝物であるという)。

関連シート

(8-3)新田神社
(8-7)庚申塔と出羽三山巡拝碑
(27-1)JFE歴史資料館